

プロジェクトを
選んで支援！



割り勘で
夢を
かなえよう！

事業指定助成プログラム

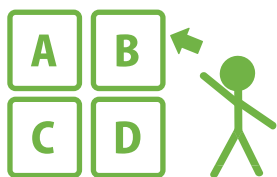
第7期

寄付募集期間

2015年12月15日(火)～2016年2月29日(月)

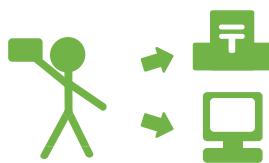
現金・郵便振替での受付は2/19まで
2/20～29の期間はクレジット決済のみとなります

①



このカタログの中から応援したい取り組みを選んでください。

②



同封の郵便振替用紙でゆうちょ銀行にて寄付をお願いします。インターネットからも可能です。

③



賛同者から集まった寄付により助成を行い取り組みを実行します。実施後は成果を報告します。



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation

ひとりぼっちの子どもの居場所をつくる



～倉敷トワイライトホーム～

ひとりぼっちの子ども居場所づくり事業

川崎医療福祉大学子ども支援サークルにつこにこ

目標 600,000 円

様々な理由で親が家におらず一人で過ごしている小中学生を対象に、公園で一緒に遊んだり、ご飯を一緒に作って食べるなどの生活支援を行います。この活動を通じて、地域住民とともに子どもの成長を見守ることができる体制の構築を目指します。

6人に1人の子どもが

貧困状態にある家庭の中で生活している。

現在、国の子どもの貧困率は16.3%となり、6人に1人の子どもが貧困状態にある家庭の中で生活しています。そういった家庭の多くは、ひとり親で変則勤務、夜間勤務によって子どもと親と一緒に時間を過ごすことができない状況にあります。学童保育等が夕方までとなり夜をひとりぼっちで過ごす必要があり、また、家庭の経済状況などで、学童保育にさえ通うことが難しい子どもも一定数います。親と一緒に過ごすことができなかった子どもたちは大人のイメージがしにくく、貧困の再生産を起こしてしまう可能性が高いです。

まずは、子どもが一人で過ごしている状況から 支えていくことが必要。

現在、全国で大学生などが主体となって、夜をひとりで過ごしている子どもに対する支援をする団体が増えています。しかし、子どもの貧困率は急速に上がってきており、支援が必要な子どもたちに行き届かすことができていない状況です。子どもの貧困などに関する問題は、様々な問題へとつながることがあります。例えば近年起こった川崎市での事例の背景には、母子家庭で貧困状態にあり、子どもが学校に通えていないことや、母親が夜間勤務で夜間に子どもが外出していた背景があり、結果として犯罪に巻き込まれてしまいました。現在、岡山県の未成年の非行率は3年連続全国ワースト1位となっています。

まずは、夜に子どもが一人で過ごしている状況から支えていくことが必要です。子どもに寄り添い、支援を行うことで子どもの孤独や孤立を解消することができ、子どもの発達や情緒的安定、学力の向上につながります。また、地域にある社会福祉協議会等の団体と協力して親との信頼関係を形成することで、親の支えにもなり、相乗効果が期待できる支援を地域において実施していく必要があると考えています。

ひとりぼっちの子ども居場所をつくる 倉敷トワイライトホーム事業。

私たちは、月曜と金曜の週二回活動拠点の近隣小中学生を招き、一緒に遊んだり、ご飯を食べるなどして、ひとりぼっちの子ども居場所をつくる「倉敷トワイライトホーム事業」を小さく実施してきました。この活動により、学校生活でこれまで荒れていた子どもが落ち着くようになり、自分を出せるようになってきているという効果ができています。また、地域で子どもから高齢者まで幅広い年齢の方を招き、活動拠点でイベントを開催することによって地域でのつながりを構築できるように進めています。

本事業では、このトワイライトホーム事業を多くの方に知っていただき、事業の本格運用を開始したいと考えています。

事業の対象者は、親が就労などの理由のため夜に家におらず、一人で夕方から夜（長期休暇の場合は日中も含む）の時間を過ごしている小中学生です。

対象児童を集める対応はととてもセンシティブであるため、親子の状況を配慮しながら相談員と学生団体の代表が連携して行っています。

集まった子どもたちと、公園で一緒に遊んだり、ご飯を一緒に作って食べるなどコミュニケーションを図り、子どもの関心のある遊びなどにも取り組むことで子どもの主体性が尊重されるアットホームな居場所を作っていきます。また、地域の銭湯などにも共に通い、子どもと地域のつながりを生み出していきます。子どもの状況によっては学生による学習支援等も実施します。

取り組み時間は、月曜日と金曜日の週二回放課後 16 時ごろから 21 時ごろまでとし、安全面を考慮し、学生が家まで見送ります。今後は学生の活動拠点常駐を目指します。夏休みなどの長期休暇中は、昼の時間帯も行い、普段できないキャンプ等も計画する予定です。

- 4月 ・学内で事業に参加する学生を集める
・小学校との連携会議（月に一回）
・ワークショップや地域のイベントに参加し、活動を地域に広めていくとともにつながりを作る（継続的に）
- 5月 ・事業拡大のため地域で利用できる社会資源の掘り起こし（継続的に）
- 6月 ・地域で行われているイベントに子どもたちと参加する
- 7月 ・学生主体となり子どもが地域とかかわれるイベントを開催する（七夕祭り）
・地域や小学校との勉強会の開催
・地域のお祭り等に子どもたちと一緒に参加する
- 8月 ・長期休暇に入るためキャンプなど子どもが主体的に行えるイベントを開催する
- 10月 ・地域で行われるお祭りに合わせ、地区社会福祉協議会や町内会、NPO 法人と協働して、子どもたちとイベントを企画・運営
- 11月 ・来年度予算のため寄付事業の展開の検討
- 12月 ・クリスマス会の開催
・フォーラムとして、寄付をいただいた方や地域の方を招き、活動の報告を行う
- 1月 ・地域の正月行事に参加

その他、子どもの誕生日も一緒にお祝いします

関連機関や学校と密に連携することで、 地域での子どもに対する支援体制構築を目指す。

地区社会福祉協議会、NPO 法人子育て応援ナビぽっかぽか、小学校などとの連携を密に図り、支援が必要となる子どもについては、学校側との連携会議を月に一回のペースで定期的開催し、情報交換を進めていきます。地区社協の子ども部会（設置予定）とも協力していき、定期的なミーティングを実施し、このミーティングには地区社協のメンバーでもある婦人会や愛育委員会なども参加する予定となっています。このように、関連機関と密に連携することで地域での子どもに対する支援体制を構築していきます。

子どもたちに社会的孤立（家族や地域との関係が薄く頼れる大人がいないこと）を感じさせない地域をつくっていく私たちの活動へご支援のほど、よろしくお願いします。

【 ご寄付のプランと特典 】

寄付プランごとの特典は下記の通りです。

- 1) 1,000 円「報告書送付（データ）」
- 2) 3,000 円「報告書送付（データ）、報告会へのご招待」
- 3) 5,000 円「報告書送付（冊子）、報告会へのご招待」
- 4) 10,000 円「報告書送付（冊子）、報告会へのご招待、
子ども貧困関係セミナーの情報提供（※メールアドレス提供者のみ）」

【 寄付金の使途について 】

- ・会場使用料等
- ・食糧費
- ・水道光熱費
- ・玩具代

<目標金額を超えた場合>

寄付目標金額よりも多く集まった場合は、事業実施箇所を増やし、より多くの子どもを受け入れる体制を築きます。また、学生サポーターの交通費やフォーラム開催の運営資金、子どもと地域の高齢者が交流することのできるイベント、子どもにも役割を提供し人の役に立つということの経験をできる地域でのイベントの運営資金にあてさせていただきます。

目標金額に達さなかった場合は、地域からお米や野菜などの寄付を募り、理解を頂けるように説明会を開いたり、寄付付き商品を販売することで、不足金額を補填し事業を実施します。

【 プロジェクト実施団体 】

川崎医療福祉大学子ども支援サークルにっここ

- 活動内容 : 子どもの居場所づくり
- 代表者 : 代表 紀 奈那（川崎医療福祉大学 学生）
- 設立年月日 : 2015 年 6 月 1 日
- 実施団体の詳細な情報はおかやまシェア・ウェブをご覧ください。
<http://okayama-share.jp/cgi/web/?c=npo-2&pk=74>





地域猫活動は思いやりから

地域猫 

啓発推進事業

目標 **480,000 円**

NPO法人  **岡山ニヤンとかし隊**

一生懸命生きているけど、地域に様々な問題を起こすことがある「ノラ猫」。このような猫達に不妊・去勢手術を施し、給餌・給水・トイレの設置及び周辺の清掃を継続的に行い、地域から所有者のいない猫が緩やかにいなくなり、人に飼われている幸せな猫だけになるように「地域猫活動」の拡大を行います。

猫も犬も、野生動物ではない。

人と共に暮らして初めて幸せな生活ができる。

地域の中には、人に飼われていた猫が捨てられたり、その猫が子孫を増やしたりして、所有者のいない猫が存在します。その所有者のいない猫たちが、庭にフンをしたり、畑や花壇を掘り返したり、ゴミを漁ったり、納屋等で子どもを産んでさらに子孫を増やし、様々な問題を起こしています。もちろん、このような猫たちをかわいがったり、かわいそうと思う人々も存在しますが、適切な管理を知らないがゆえに所有者のいない猫を繁殖させ、増やしてしまうことで、せっかくの優しい心が地域の問題の一つになってしまっている現状もあります。猫も犬も、野生動物ではなく、人のために改良され、人と共に暮らして初めて幸せな生活ができます。元はといえば、人が捨てた猫が繁殖し地域の問題となっており、所有者のいない猫は人によって不幸な生活を強いられている猫たちです。

**困っている人も、かわいそうと思っている人も
不幸な猫は減って欲しいと思っている。**

猫は法律上愛護動物として扱われ、自分から人に攻撃をしないため、殺処分の対象からは除くことが望ましいとされています。命あるものを「邪魔な存在だから」という理由で殺処分を行うのは、子どもたちの育つ環境としても相応しくないと考えます。所有者のいない猫に困っている人も、猫がかわいそうと思っている人も、このような不幸な猫は減って欲しいとい

うのは共通の願いです。

**地域猫活動は、地域という大きな家族の中で
「地域猫」として適切に管理すること。**

そこで、考え出された方法が「地域猫活動」です。所有者のいない猫を地域という大きな家族の中で「地域猫」として適正に管理するという考え方です。具体的には、所有者のいない猫を原因とする問題は地域の問題だということを地域ぐるみで理解し、このような猫達に不妊・去勢手術を施し、子孫を残さないようにした上で、給餌・給水・トイレの設置及び周辺の清掃を継続的に行い、地域から所有者のいない猫が緩やかにいなくなり、地域には人に飼われている幸せな猫だけになるという活動です。

**所有者のいない猫に対する意識のギャップを
地域内で埋めていく必要がある。**

現在岡山市内の4つのエリアで「地域猫活動」を実施しています。「地域猫活動」の効果を挙げるためには、近隣エリアからの流入猫を防止したり、広く世間に猫の適正飼養についても啓発していかなければならないと考えます。「地域猫活動」を推進し、広げていくためには、①「地域猫活動」とは地域ぐるみで取り組む活動と知ってもらうこと ②「地域猫活動」を地域ぐるみで取り組むためには地域コミュニケーションが必要であることを知ってもらうこと ③「地域猫活動」を行える地域環境づくりに取り組む必要があります。

「地域猫活動」パンフレットの配布・説明会実施、猫の実態調査や不妊（去勢）手術等を行います。

今回の事業では、流入猫防止や相互連携のためにも「地域猫活動」を面で広げたいと考えており、現在の4つのエリアに新しく1エリアを追加し①②の「地域猫活動」に取り組みます。「地域猫活動」は他エリアから流入してくる所有者のいない猫を防止する観点からも、隣接する地域で活動を展開し、面で広げていくことが効果的だと考えています。事業の詳細は次の通りです。

① 「地域猫活動」とは地域ぐるみで取り組む活動と知ってもらう

- ・「地域猫活動」に関するパンフレットの配布（2,000～3,000部）
- ・猫が嫌いな方への猫対策方法を希望者へ配布 各エリアに5～10部
- ・「地域猫活動」ルールや実際の取り組み方、「地域猫活動」の効果などを説明する会を開催

② 「地域猫活動」を地域ぐるみで取り組むためには

地域コミュニケーションが必要であることを知ってもらう

「地域猫活動」を行うためには、地域にどれだけの所有者のいない猫がいるのか把握し、不妊去勢手術の立案や、岡山市「地域猫活動支援事業助成金」の実施・交付申請の条件を整えることが必要です。そして、地域猫活動を実施した後は、実施状況を地域にも報告していきます。

- ・対象エリアは現在の4エリア+新規1エリア
- ・所有者のいない猫の実態調査
- ・ご飯場所・トイレ設置に協力できる地域住民の方を探し、依頼する
- ・地域猫活動の活動計画の立案
- ・所有者のいない猫の不妊（去勢）手術15匹
- ・地域猫活動の実施状況の報告

この事業を通じて、所有者のいない猫の問題は、地域のコミュニケーションが大切で、地域として適切に管理していくことが必要ということを広めていきたいと考えています。幸せな猫を増やす私たちの活動に対するご支援をよろしくお願いします。

【 ご寄付のプランと特典 】

寄付プランごとの特典は下記の通りです。

- 1) 1,000円「お礼猫ハガキ」
- 2) 3,000円「お礼猫ハガキ、報告書送付（データ）」
- 3) 5,000円「お礼状、猫ハガキ（無地）、報告書郵送（冊子）」
- 4) 10,000円「お礼状、猫ハガキ（無地）、報告書郵送（冊子）、地域猫現場体験へのご招待」

【 寄付金の使途について 】

- ・不妊手術費用（15匹分）
- ・猫の保護器

<目標金額を超えた場合>

寄付金額が多く集まった場合には、次のステップである地域猫活動を推進するために必要な環境を整え、エリアを拡大します。また、次年度以降の活動資金と致します。

【 プロジェクト実施団体 】

NPO法人岡山ニャンとかし隊

■活動内容 : 地域の団体と協力して動物の適正な管理をすることによって、人と動物の快適な生活を目指すまちづくり活動を行っている

■代表者 : 理事長 廣畑佐知子

■設立年月日 : 2015年9月25日（2005年より保護した子猫の譲渡開始）

■ホームページ : <http://nyantokasitai.jimdo.com/>

実施団体の詳細な情報はおかやまシェア・ウェブをご覧ください。

<http://okayama-share.jp/cgi/web/?c=npo-2&pk=73>

NPO法人
岡山ニャンとかし隊

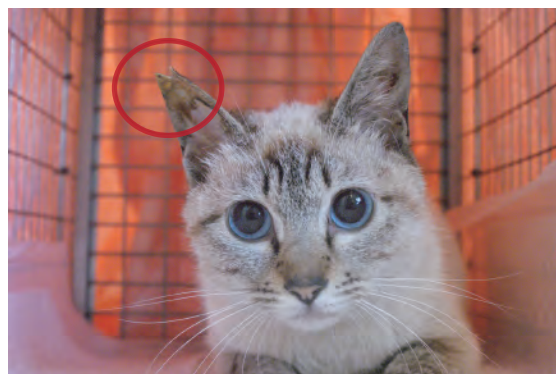
ー 地域猫になるまで ー



餌付け 去勢手術をするためには、捕まえないけません。そのために、ルールを守って餌付けをしていきます（許可が得られている場所、時間通りあげるなど）



捕獲し手術を行う 専用のかごで保護し、動物病院で不妊手術を行います。手術の効果は、子猫が生まれなくなる、発情の鳴き声・ケンカが減る、臭い付けの尿が軽減されるなどです。



耳カット 地域猫と判別できるよう耳カットをします（麻酔をかけて痛みがないように行います）。耳カットにより再度捕獲されることもなくなり、地域の皆さんの理解が進みます。



猫トイレの設置・地域への報告 設置したトイレの場所、ご飯場所や、主な居所を町内会に報告し、地域猫になります。



若者の挑戦!! 日本の魅力

発掘BOOK

製作プロジェクト

目標 **120,000 円**

I . S . A (日本国際学生協会) 岡山支部

国際化やグローバルとよく言われる中、英語はおろか日本語でさえ日本について伝える事ができない若者が多いと感じています。自分達の口から自信を持って伝えていくことができるように、日本の魅力を自分たちで発掘できるガイドブック「若者の挑戦！日本の魅力発掘ブック」を作成します。

日本の若者で日本の文化・歴史などを理解し 身につけている人は 24.3%で他の国より低い。

私たちは、ISA（日本国際学生協会）という学生団体に所属し、長期休みにフィリピンやインドネシアや韓国など、海外での交流活動や国内での交流活動に励んでいます。そういった交流の中で、海外の方から日本のことを聞かれることがあります。しかし、日本の事を英語はおろか日本語でさえ伝える事が出来ないことが多くあります。

このような場面に遭遇した時に「もっと知っておけばよかった」「自分は日本について何も知らない」「知っているようで実は知らないのではないか」というもどかしさを感じています。

内閣府が実施した若者意識調査では、自国や他国の文化・歴史・社会・生活・習慣・価値観などを理解し身に付けていると思っている人は 24.3%で、身に付けていないと思っている人は 58.7%にもなり、他国に比べて日本は自国や他国についての理解が低いという結果が出ています。

なお、「身に付けていると思う」と回答した割合が最も高いのはドイツ (69.6%) で、以下、スウェーデン (61.0%)、英国 (56.5%)、アメリカ (49.3%)、フランス (35.9%)、韓国 (34.1%) の順となっています。(参考：平成 25 年度 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査 平成 26 年 6 月内閣府)

学生ツーリズムサミットは、若者の目線で 地域特有の文化や伝統の魅力を発掘する活動。

2020 年の東京オリンピックに向かって今後もより一層国際化やグローバル化が進むことは確実です。英語など日本語以外の言語でも日本を伝えられるようになるためには、日本に興味を持つことがファーストステップだと考えています。

私たちは「観光の視点から日本を知り、その活用方法を考え発信する」という理念を掲げ、若者の目線から日本の良さを自分たちで発掘・発信する学生ツーリズムサミットを 2009 年から開催しています。

学生ツーリズムサミットは、毎年 1 つの県を選び、1 週間の滞在期間で一般的なガイドブックには載っていない地域特有の文化や伝統の魅力を発見します。地域の自治体や関係団体、地元の方々とディスカッションをすることで発見した内容をブラッシュアップして SNS を中心に発信しています。第 8 回となる今回は「徳島県」にて 2016 年 2 月に実施する予定です。

日本の魅力を自分たちで発掘することができる 「若者の挑戦！日本の魅力発掘ブック」

今回の事業では、私たちが今まで行った8回の学生ツーリズムサミットで蓄積してきた魅力を発掘するためのプロセスを凝縮した冊子「若者の挑戦！日本の魅力発掘ブック」を作成します。

掲載する内容は、最新の徳島県を中心に、今まで実施した島根県、香川県、三重県、静岡県などの魅力を掲載し、どうやって魅力を発掘しているか、発掘のポイントなどを掲載する予定です。

作成したブックは、I.S.A. 岡山支部が中心となり、各支部がある東京、大阪、京都、神戸、福岡の大学の学生や教授に配布していきます。

これにより、「日本にはまだまだ知らない魅力がある」「若者目線だからこそ良さを発掘・再認識することができることがある」「自分たちでガイドブックには載っていない日本の魅力を見つけることができる」ということを伝え、「日本のどこにいても、自分の住んでいる地域の良さを自分たちでアクションを起こし、発掘することができる」「地域の人にもその活動が知られて、たくさんの人にその地域の良さが伝わっていく」状態を目指していきます。

- ブックの構成**
1. I.S.A. 概要
 2. 学生ツーリズムサミットの背景
 3. 第1～8回までの自分たちが発掘した魅力
＜掲載エリア＞
最新の徳島県を中心に三重県、静岡県など
 4. 若者目線で魅力を発掘する方法
(今まで培ってきたノウハウ)
※掲載順などは変更になる可能性があります

印刷部数 1,000部

スケジュール 4～5月中旬 ブック作成
5月下旬 印刷、配布

日本について興味をもち自分たちの言葉で 伝えていくことができる若者を増やしたい。

私たちはこのブックを通じて若者がもっと日本に興味を持ち、日本のことをもっと知り、自信を持って自分たちの言葉で日本について具体的に伝えることができる若者を増やしていきたいと考えています。私たちの活動へご支援のほど、よろしくお願いします。

【 ご寄付のプランと特典 】

寄付プランごとの特典は下記の通りです。

- 1) 1,000円「お礼状の送付」
- 2) 3,000円「お礼状、日本の魅力発掘ブック1冊」
- 3) 5,000円「お礼状、日本の魅力発掘ブック1冊、報告書(冊子)」
- 4) 10,000円「お礼状、日本の魅力発掘ブック1冊、報告書(冊子)、
次年度学生ツーリズムサミット提言大会へのご招待
(2017年2月予定 交通費及び宿泊費はご負担ください)」

【 寄付金の使途について 】

- ・ブック印刷製本費
- ・事業報告書印刷費
- ・ブック等郵送費

＜目標金額を超えた場合＞

寄付目標金額よりも多く集まった場合は、次年度の活動費、及び、冊子を使ったワークショップの開催費用にあてさせていただきます。目標金額に達できなかった場合は、発行部数を調整することで事業を実施します。

【 プロジェクト実施団体 】

I.S.A. 岡山支部

■活動内容 : 学生国際交流

■代表者 : 支局長 山地 杏奈(ノートルダム清心女子大学 学生)

■設立年月日 : 1934年(全国)

■実施団体の詳細な情報は下記サイトをご覧ください。

<http://www.isa-japan.org/> (全国)

<http://wyts-isa.wix.com/summit08> (今期 学生ツーリズムサミット)



● 「割り勘」とは？

事業指定助成プログラム、通称「割り勘」とは、寄付を原資とした助成事業です。NPO・市民団体等が取り組む事業内容を社会に発信し、事業への賛同者を募ることで、「寄付により資金集めを支援する地域版クラウドファンディング」です。



● ご寄付の方法

クレジット決済

モーションギャラリーのウェブサイト内からクレジット決済にて寄付をすることができます。

郵便振替

本カタログに挟み込んでいるものをご使用いただくか、事務局及び申請団体へ連絡いただき振替用紙を受け取ってください。

現金

説明会の会場やみんつく財団事務所で受付しております。事務局までお問い合わせください。

● ご寄付をいただいた後の流れ

- 1) ご寄付をいただきましたら、入金確認後、電子メールにてお礼と受付確認の連絡をさせていただきます。
- 2) 募集期間終了後、助成金額が確定（1カ月程度見込み）したのち、領収書及び助成結果通知を送らせていただきます。※領収書は、未発行の場合のみ発送させていただきます。
※モーションギャラリー経由（クレジット）の場合は領収書は発行されません。
- 3) 助成時に、各団体へ寄付者名簿をお渡しし、事業実施後、事業報告が各団体より行われます。みんなでつくる財団おかやまのウェブサイトでも事業結果をご報告いたします。

Q. 目標金額に達さなかった場合はどうなりますか？

集まった金額で助成（資金提供）を行います（当法人の運営経費5%＋システム利用料を差し引いた額）。提案事業の目的に沿ったものを、事業規模の縮小もしくは他の資金を充当することにより実施できるものを選定しております。詳しくはウェブサイトの募集要項をご覧ください。

Q. 逆に、期間内に目標金額を超えたらどうなりますか？

目標額を超えて集まった金額も含め、助成し、提案事業の発展に活用していただきます。

Q. 目標金額はどのようにして決まっていますか？

事業提案者の申請額に、当法人の運営手数料（助成額の5%＋システム利用時はシステム利用料）を加えたものになっています。



みんなの何とかがしたいを カタチにする仕組み。

みんなでつくる財団おかやま、通称「みんつく」は、530名以上の方からの寄付4,133千円をもとに設立した「みんなの何とかがしたいをカタチにする」市民コミュニティ財団（公益財団法人）です。「つなぐ、つたえる、シェアをする」をキーワードに、広く多くの人に知ってもらいながら資金を集める地域版クラウドファンディング「割り勘」、個人でも少額から基金を設置できる「冠基金」などの仕組みを提供しています。ヒト・モノ・カネ・情報の資源循環を通じて、社会課題の解決を進め「安心して持続可能な地域社会の実現」を目指しています。



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation

☎ 070-5056-3029(直通) ✉ info@mintuku.jp

🖥 www.mintuku.jp

みんつく財団 検索

寄付の相談や、講演依頼も気軽にご連絡ください